

Levy “Neuroethics”

Chap. 9 ‘The Neuroscience of Ethics’

後半

担当 中澤栄輔

道徳構成主義

その前に.....

道徳的反自然主義

道徳的事実がわれわれから独立して存在する。

プラトン主義やキリスト教的道徳観

道徳的反自然主義

SingerやGreeneの考えも道徳的反自然主義

もしわれわれの道徳的直観が進化的歴史の産物であったとしても、道徳的直観が道徳的眞実を追求するものだと考えることはできない。
なぜならば、進化と道徳の实在性とは関係がないから。

道徳構成主義

道徳的事実・道徳的性質は、態度、規約やその他の人間の状態や生産物から構成される。

道徳的事実はわれわれから独立ではない。

道徳的事実はわれわれの道徳的反応の産物である。

道徳構成主義

道徳構成主義は次のことを認める準備がある

- (1) 道徳性が**進化の産物**である
- (2) 道徳性が**脳の構造によって実現**されている

道徳にかんする進化論

協調傾向

小さい魚が大きい魚に掃除のサービスを提供するかぎり、大きい魚は小さい魚を**食べる**ことはない。

協調傾向は進化におけるかなり早い段階で獲得された

道徳にかんする進化論

他者にたいする同情

痛みがそれが自分に加えられたものであろうと
他人に加えられたものであろうと「悪い」もの
だと直観する傾向は進化論的に説明できる。

道徳にかんする進化論

他者にたいする同情

進化的適応環境において関心の対象は**同種のもの**。

今日、非常に異なった環境に暮らしている別種のものにたいしても、同じ環境に暮らしていたころに獲得したものがまだ残っている。

道徳にかんする進化論

他者にたいする同情

アカゲザルは他猿に苦痛を与えることで大きな報酬を得るよりも、他猿に苦痛を与えない小さな報酬のほうを選ぶ。

→ 普遍的善意

道徳にかんする進化論

他者にたいする同情

反論

Singer (道徳的反自然主義)

倫理は普遍的善意に基づく

再反論

Singerは行動を動機づける近位的なメカニズム
と遠位的な説明を混同している

道徳にかんする進化論

議論の転換

トロツコ問題にたいする反応も、進化の産物である。

トロツコ問題

Singerの議論の2つの側面

(1) パーソナルな道徳的ジレンマにおけるわれわれの直観は、感情的な負荷がかかったものであるから、無視しなければならない。

→ここでは検討しない

トロツコ問題

Singerの議論の2つの側面

(2) 二つの殺人の方法, 「接近している, パーソナルな方法」と「技術に媒介されているインパーソナルな方法」この2つの方法の違いは道徳には関係がない.

→こちらを検討

トロッコ問題

意図／予見の区別（トロッコ問題によせて）

太った男を直接押すときにはその男に危害を加えることを意図している。

しかし、レバーを引く時にはその男に危害が加わることをたんに予見しているだけである。

トロツコ問題

意図／予見の区別

同じ危害であっても、それが**意図されたものであればより悪い**し、ある行為（道徳的に正当化された）の避けられない結果であればそれほど悪くない。

戦争で市民を爆撃することと、軍事施設を爆撃してその結果市民に死者が出ることとでは前者のほうが悪い。

トロツコ問題

話題の転換

しかしもっと広い文脈で道徳を考えることが必要だろう。

道徳的パニック

moral dumbfoundingとは?

ある行為にたいして「悪い」という直観を報告しているにもかかわらず、その直観を正当化することができないという現象

個人が自分の信念に対する**正当化を供給できない**ということ

道徳的パニック

Haidtの指摘

道徳的パニックがSES(社会的経済的ステータス)と逆の相関関係を持っている

道徳的パニック

Haidtの指摘

被害者のない罪(タブーな行為等)にかんして

H-SESは危害がないから「悪くない」と直観する.

→MDは起こらない(反省的均衡の成就).

L-SESは「悪い」と直観する. ただし, 自分の反応を正当化することができない.

→MDが起きる.

道徳的パニック

Haidtの指摘

H-SESとL-SESでは〔無危害原則という〕道徳理論は共有しているのに、道徳的反応の内容にかんしては異なる。

→MDの有無に差がでる。

→道徳的直観は教育に影響される。

認知の分業: 拡張する道徳的心

知識の分業体制

知識は世界中のたくさんのひとびとの協働によってできあがる.

認知の分業: 拡張する道徳的心

道徳の分業体制

科学的知識の蓄積と同様、道徳は共同体参加者の相互作用によって生じ、各人はその共同体において特定の役割を担う。道徳は共同体ベースの営みであり、そのなかで道徳の専門家は指導的役割を担う。

認知の分業: 拡張する道徳的心

科学と道徳の分業体制の相違点

- (1) 道徳にかんして、専門家と残りの素人集団では自然学におけるほどのギャップがない。
- (2) 自然学と違って、道徳の探求は「大学の外」で行われる場合が多い。

認知の分業: 拡張する道徳的心

科学と道徳の分業体制の類似点

専門家の議論がゆっくりと広まっていくこと.

知識が伝達されるとき, 同様にそれにたいする
正当化も伝達されるということはない. (クジラ
は魚ではない)

このことは道徳にかんしても言える.

認知の分業: 拡張する道徳的心

道徳の専門家から一般大衆へ

他の人種, 女性, ホモセクシャルにたいして権利を増大させようとする動きは最初は比較的小さなグループから提唱された. こうしたことはH-SESの議論が次第にL-SESに普及していった結果である.

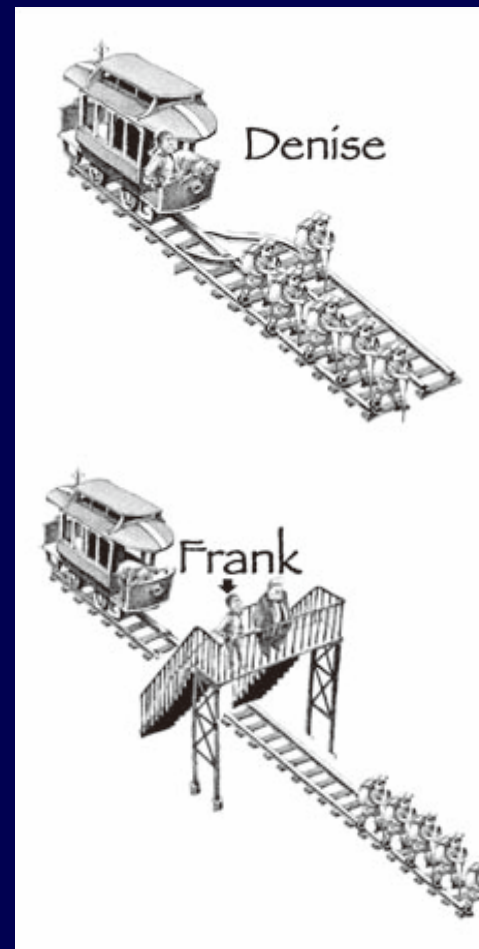
認知の分業: 拡張する道徳的心

反証?

トロッコ問題にたいする反応の割合は、**教育**、**人種**、**性別によって変化しなかった**。(肥った男を突き落とすほうが悪い→89%、レバーを引くほうが悪い→11%)

しかもほとんどの人がそのように反応したこと
にたいする**正当化を与えることができなかった**。

Category	N	Scenario 1	Scenario 2	p value (one-tailed)
Exposure to Moral Philosophy				
No	2098	0.89	0.11	<.001
Yes	548	0.91	0.11	<.001
National Affiliation				
Australia	49	0.90	0.15	<.001
Brazil	31	0.82	0.29	0.002
Canada	93	0.84	0.12	<.001
India	24	0.88	0.00	<.001
United States	2218	0.90	0.10	<.001
United Kingdom	58	0.83	0.15	<.001
Ethnicity				
American Indian/ Alaskan Native	18	0.40	0.07	0.048
Asian/Pacific Islander	85	0.80	0.12	<.001
Black Non-Hispanic	27	0.90	0.26	<.001
Hispanic	293	0.80	0.16	<.001
White Non-Hispanic	9183	0.90	0.10	<.001
Current Religion				
Buddhist	71	0.88	0.16	<.001
Catholic	375	0.88	0.06	<.001
Orthodox Christian	36	0.73	0.14	<.001
Protestant	778	0.93	0.08	<.001
Christian (Other)	347	0.85	0.12	<.001
Hindu	17	0.81	0.00	<.001
Jewish	72	0.93	0.14	<.001
Muslim	20	0.78	0.90	0.001
None	784	0.89	0.16	<.001
Highest Educational Level Attained				
Middle School	15	0.78	0.33	0.043
Some High School	96	0.83	0.14	<.001
High School	362	0.83	0.08	<.001
Some College	938	0.90	0.10	<.001
BA	709	0.92	0.11	<.001
Masters	308	0.91	0.15	<.001
PhD	207	0.90	0.13	<.001
Age				
<20	117	0.80	0.21	<.001
20s	398	0.87	0.18	<.001
30s	458	0.89	0.15	<.001
40s	601	0.93	0.09	<.001
50s	606	0.89	0.06	<.001



S1
89%

S2
11%

10 M. Hauser, F. Cushman, L. Young, R. Kang-Xing Jin and J. Mikhail

Table 1. Continued.

Category	N	Scenario 1	Scenario 2	p value (one-tailed)
60s	337	0.89	0.08	<.001
70s	116	0.88	0.10	<.001
Gender				
Male	1490	0.88	0.90	<.001
Female	1156	0.90	0.13	<.001

認知の分業: 拡張する道徳的心

反証にならない!

「道徳哲学に関与している」と報告した人のグループとそうではないグループでは、反応に正当化を与えることができる確率が異なった。

(41%/27%)

→「道徳哲学に関与している」と報告した人のグループはそうでないグループにくらべ、**より反省的均衡の状態に近づいている。**

認知の分業: 拡張する道徳的心

トロッコ問題における反省機能の介入

被験者は自分の反応の非整合性に気づく
→判断に影響する.

同じセッションにシナリオ1とシナリオ2が配された場合, 反応が異なったのは5.8%にすぎない.

認知の分業: 拡張する道徳的心

トロッコ問題から考えられる反省的均衡への道

第1ステップ

被験者は自分の不整合に気づくと、判断をためらうようになる。

第2ステップ

判断と道徳原理の調和を一段高い次元で構築する。

認知の分業: 拡張する道徳的心

トロッコ問題を以上のように捉えていくと.....

Singerは距離〔身体的接触〕が道徳的関連性を持っているということを否定した.

[しかしSingerの代案である]意図／予見の区別が道徳的関連性を持っているということにかんしては[これもまた]確かではない.

→道徳はもっと広い視野で探求!

結論的なこと

道徳性にかんする議論は進行中の**分業的営み**である。

トロツコ問題実験が示しているのは反省的均衡にはまだ程遠いということ。

ただし、われわれは道徳的判断を改定する方向にある。

道徳の分業体制によって、**もっとよく正当化された直観が広まりつつある。**

結論的なこと, さらに

多くの専門家集団の認知的分業によって心を拡張することで, 信念にたいする**正当化を分配**することができる. だれかひとり人間が関連する情報を独り占めにすることはない.

認知的分業はひとりの天才の存在, 個人主義, 自律性と齟齬をきたすかもしれない.

とはいえ, 認知的分業という形態こそがよりよい生活を追い求めるわれわれの社会に適合する形態である.